

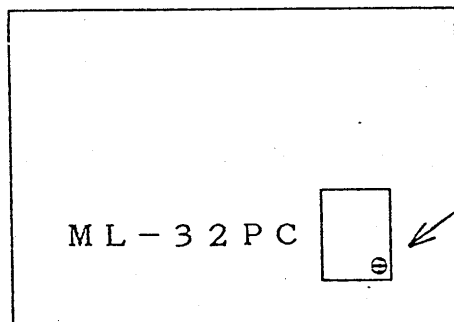
RAMカードユニット取り扱い説明書

1) 接続方法

- 1-1 RAMカードユニットから出ているフラットケーブルをMP-30 (MP-10)のRAMカード用コネクタに差し込んでからロックしてください。
- 1-2 フラットケーブルから出ている端子付の緑色の線を、カウンターのTB端子に設けてある、アース端子に接続してください。ノイズの影響を受けている様な時は、この端子を確実なアースに接地してください。
- 1-3 各部の接続に誤配線が無いことを確認してからMP-30、(MP-10)6軸時はMP-60を同時に電源を入れてください。

2) RAMカードの取り扱い

- 2-1 RAMカードに電池をセットする。



このネジをはずしてフタをあけ同封されているリチウム電池の極性を間違いない様に入れてください。

- 2-2 カードの裏面に電池をセットした年月日とコメントを記載しておくとう便利です。
- 2-3 バックアップ電池の型式は(CR2016)です。バックアップ期間は3年間ですから、3年に一度はこの電池を交換してください。尚、電池の交換時はデータが消えてしまいますので、交換作業の前には必ずRAMカードに記憶させてあるデータを、カウンターに読み込ませてから新しい電池と交換し、再度カウンターに記憶させたデータをRAMカードに書き込む様にしてください。

- 2-4 カードの準備が出来たらカードユニットの ▽ マークとカードの ▽ マークを合せて真直ぐにカードを差し込んでください。
- 2-5 読み込み又は、書込みが終わったらカードは抜いて保管してください。差し込んだまま使用していると、万が一、コンピュータが誤動作を起こした場合に、RAMカードに記憶させてあるデータを破壊してしまう可能性があります。

3) RAMカードにデータを書き込む時

- 3-1 自動モードにしてください。
- 3-2 を押した後 を1.5秒以内に続けて3回押してください。
- 3-3 チャンネル表示LEDに 1 (読み込みモード)を表示します。
- 3-4 を押してLEDに 2 (書込みモード)を表示させてください。
- 3-5 を押すとMP-10は目標値LEDに又、MP-30は1軸目LEDに現在セットされているRAMカードのNOが表示されます。このNOは自由に設定することができます。
- 3-6 現在表示されているNOを変更する時は を押してください。MP-10は現在値表示LEDに又、MP-30は2軸目LEDに 1 1 1 が表示されNO指定の最上位桁LEDが点滅します。
- 3-7 RAMカードに登録したい3桁の数字を3に設定するとすればテンキーより と入力してください。入力を間違えた時は を2回押した後に再度NOを指定してください。
- 3-8 を押すとブザーが鳴りRAMカードにデータの書込みを開始します。
- 3-9 書込みが終了すると自動モードに戻ります。

3-10 位置決めデータ、ファンクションデータ、イン칭ングデータのいずれかを
書込みたくない時は、3-7項の操作を行った後に **低速** を押して
以下の操作を行って下さい。

MP-10は現在値LEDに又、MP-30は2軸目LEDに表示している
1 1 1 は向かって左側がプログラムデータ、中央がファンクション
データ、右側がイン칭ングデータを表しており1を表示している時は
書込みを行い、0にすると書込みを行わないようにすることができます。
通常は総てのデータを書き込んでおくことをおすすめします。

3-11 ファンクションデータを書込みたくない時は **1** **0** **1** と
押して中央を0に設定し、3-8項の操作を行ってください。
尚、低速位置決めを使用する時はイン칭ングデータの設定は1でも0でも
かまいません。

4) RAMカードからのデータを読み込む時

4-1 自動モードにしてください。

4-2 **チャンネル** を押した後 **M** を1.5秒以内に続けて3回押して
ください。

4-3 チャンネル表示LEDに1（読み込みモード）を表示します。

4-4 **セット** を押すとMP-10は目標値LEDに又、MP-30は1軸目の
LEDに現在セットされているRAMカードのNOが表示されます。

4-5 **スタート** を押すとブザーが鳴りRAMカードからデータの読み込みを
開始します。

4-6 読み込みが終了すると自動的に自動モードに戻ります。

4-7 位置決めデータ、ファンクションデータ、イン칭ングデータのいずれかを
読み込みたくない時は **低速** を押して以下の操作を行って下さい。
MP-10は現在値LEDに又、MP-30は2軸目LEDに表示している
1 1 1 は向かって左側がプログラムデータ、中央がファンクション
データ、右側がイン칭ングデータを表しており1を表示している時は
読み込みを行い、0にすると読み込みを行わないようにすることができます。

4-8 例えばファンクションデータを読み込みたくない時は

1 0 1 と押して中央を0に設定し、4-5項の操作を行ってください。

尚、低速位置決めを使用している時はインテグデータの設定は1でも0でもかまいません。

5) エラー表示

RAMカードの書込み及び、読み込み時に不具合があると次のようなエラーNOをMP-10は回数表示LEDに、MP-30は3軸目LEDに表示しブザーを鳴らします。

5-1 エラー1

- RAMカードに記憶されているデータが壊れている時
- 何も記憶されていないカードのデータを読み込もうとした時

電池、3年間。

5-2 エラー2

- RAMカードがセットされていない時

5-3 エラー3

- RAMカードに記憶されているデータとカウンターのRAMに記憶しているデータを比較した結果が違っていた時
(書込み時及び、読み込み時いずれもこのベリファイチェックをおこないます。)

5-4 その他

RAMカードにデータを書き込んだ時、メモリーアドレスの要所、要所に一定のデータを書き込んでおりますので、カードからデータを読み込んだ時に、このデータをチェックする事により、カードに記憶してあるデータが壊れているかどうかチェックしておりますので、万一、電池の交換を忘れてデータの一部分が破壊されたとしても、そのRAMカードの読み込み時点で十分なチェックが行われる様に配慮しております。